

令和3年度 進路だより



秋田県立秋田きらり支援学校
第2号
令和3年7月22日発行



今号では、中学部の作業学習週間と高等部の校内実習、現場実習についてお伝えします。

中学部作業学習週間を終えて



中学部1～3年の1組生徒14名で「油グッパイ」作りに取り組みました。

中学部作業学習週間のI期は6月14日(月)～16日(水)の3日間です。I期は一日いっぱい作業学習に取り組む生活の流れを体験すること、協力して製品を作ることで達成感を得ることをねらいにしています。実際の学習場面では「PTAで販売するために60袋を完成させよう!」を全体の目標にして活動しました。作業工程ごとに3グループに分かれて、集中して作業を行いました。みんなの力で目標をはるかに超えて、75袋も完成させることができました。

7月9日に行われたPTAの際には、各学級で販売活動をしました。自分たちで作った製品を喜んで買ってもらえることに大きな充実感を得ることができたように思います。今後は、地域の「いぶきの里」に実際に納品に行く活動を進めていきます。働くことへの楽しさや喜び、やりがい、責任感を高めていきたいと考えています。



PTA作業販売の様子

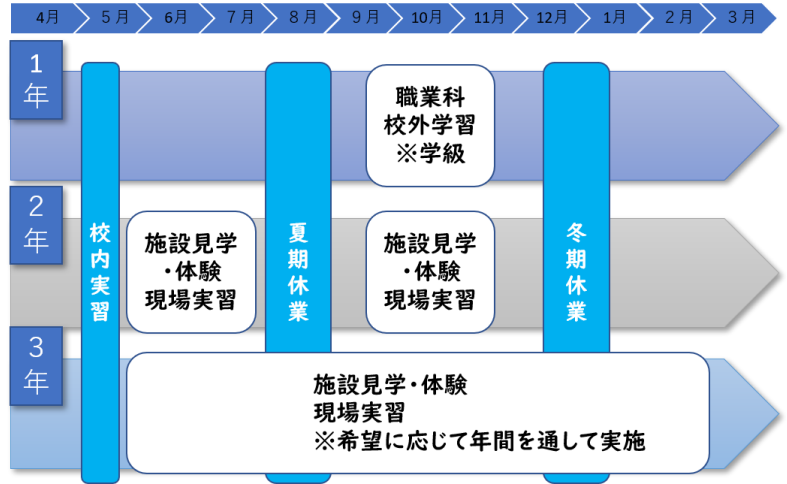


小学部6年生と
中学部2年3組が作業体験に来ました。その際には、自分たちの作業の仕方を伝える機会ができ、体験にきた児童生徒は作業学習の雰囲気を感じ取り、お互いに実りのある時間にできました。

高等部校内実習、現場実習を終えて

高等部1組では、5月31日(月)～6月4日(金)までの5日間、校内実習が行われました。また、高等部2、3年生は6月～7月にかけて事業所見学、現場実習を行いました。実習を終えた生徒達からは、「緊張した」「あつという間に一週間が過ぎた」「もっと頑張りたい」と様々な感想が聞かれました。実習を通して、今後頑張りたいことが明確になったり、こんなことをやってみたく自分の願いや希望に気付いたりすることができました。

現場実習は、卒業後の生活を「事前に体験」できるとも大切な学習です。新型コロナウイルスの影響により、例年通りの実習の実施が難しい現状となっていますが、日々の学習の進め方を工夫したり、貴重な実習の機会を大切にしたりしながら、生徒の願い・ニーズに応じた進路選択、進路決定ができるよう支援していきたいと考えています。



今年度の各学年の「現場実習」、「施設見学・体験」の1年間の流れ(予定)

現場実習先・見学先の紹介

2年生

○生活介護、機能訓練 : 中野つくし苑、きらっと分場、聖和、第二聖和

3年生

- 生活介護、機能訓練 : ほととばんぶー、はッピーわーきん、ウエルビューいずみ、きらっと分場、中野つくし苑、
 潟上天王つくし苑、南秋つくし苑、ありす刈和野、いぶりん、潟上ひまわりの里、
 ほのぼの、ふーら、障害者支援センター御所野、やすらぎの家、聖和、第二聖和
- 就労継続支援B型 : 潟上ひまわりの里、秋田ワークセンター、緑光苑
- 一般企業等 : 市役所



園芸作業



ポリパックの仕分け作業



読み聞かせカード作成



箱折り作業

校内実習の様子

縫製班とエコグリーン班に分かれて作業を行いました。卒業後の進路に向けて、今できること、校内でできることに一生懸命に取り組んでいます。実習を通して、5日間続けて働けるために自分の体調管理をしっかり行うこと、自分でできることを自分で行うことの大切さなどに気付くことができました。



縫製班



- ・きんちゃく袋作り
- ・におい袋作り
- ・校内職員販売



エコグリーン班



- ・花の種まき作業
- ・プランターへの苗植え
- ・事務作業
- ・自立活動